

---

# 慈 恵

---



---

平成24年 冬季号

---

No.37

宗教法人 慈 恵 院 付 属 多 磨 犬 猫 霊 園



生きているんだもの

苦しいことがあつたら

ためちやあ だめだよ

がまんしちやあ だめだよ

心の許せるだれかに はきだしてごらん

苦しいことだつて あるさ

弱いときだつて あるさ

人間だもの

生きているんだもの

「ただ無心」

信行真哉の世界より

### 礼を言わない仙厓和尚

仙厓は人に礼を言わぬ人であった。布施を受けても世話をしてもらっても、ただ黙って低頭するだけであった。そのいい草がまたふるっている。

「礼をいうと、せつかく受けた恩がそれきり消えるような気がするから、いつまでも恩をありがたく思っているために礼をいわんのだ」

ある雨の日、仙厓は町中で下駄の鼻緒が切れて困っていたところ、近所の豆腐屋の女房がこれを見つけて、鼻緒をすげ替えてやった。しかし、仙厓は一言の礼もいわずに、黙って低頭して帰った。

豆腐屋の女房はムツとして、のちに某に向かつて、

「仙厓さんはみなが偉いお方だというけれども、ちつとも偉くはないよ。私が鼻緒をすげてあげたのに、一言の礼もいわんバイ。あんな礼儀知らずの坊主ったらありはしない」

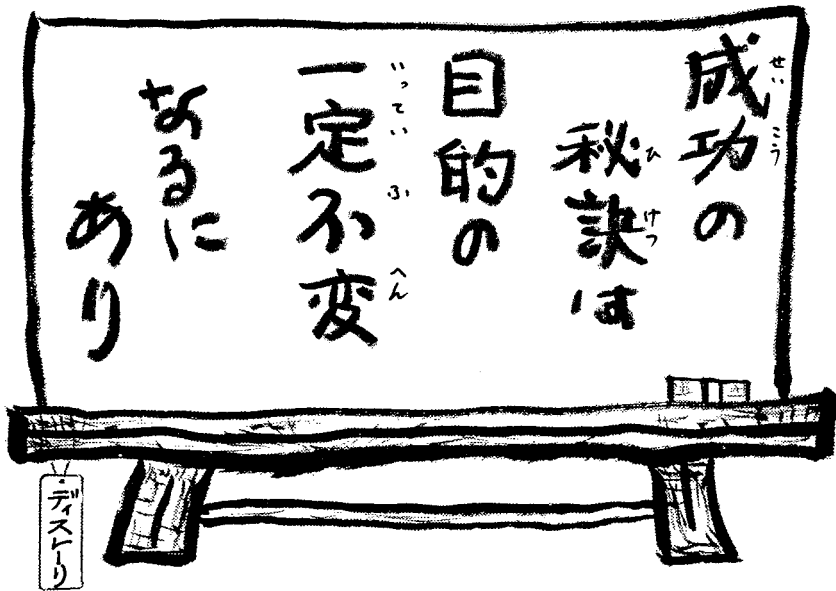
とプリプリと怒った。のちにこの話を耳にした仙厓いわく、「うん、そうか。礼をいやあ、それで済むのかい。わしはもう一生忘れんつもりじゃったのに」

「禅門逸話集成」より

### 仙厓義梵 (一七五〇〜一八三七)

臨濟宗。美濃の生まれ。月船禅慧に参じ、のち聖福寺の盤谷に師事した。その飄逸な絵でよく知られている。

### 掲示板



慈 恵



府中市

ペンネーム  
にゃんこ

紫陽花の季節。今年で七回目の命日を迎えました。愛猫みけが逝った日は、真夏の太陽が照りつける暑い、そして、私にとっては長い一日となりました。野良で死にかけていたこの仔を拾い、多感な時期を共に過ごし、享年十四才一ヶ月まで生きられたのは、奇跡に近いと思っております。

動物病院から慈恵院を紹介され、人間と同じように供養して頂いている事は、私自身の心にも安心ややすらぎを感じております。現在は、合同供養塔に祭

られ、きつと多くの仲間やその飼主さんの花、お坊様の読経にあの世でも救われていると思っております。

この仔が死んで数ヶ月は、お寺に足を向ける事が多くなりました。そこで知り合ったのは、お寺のネコちゃん達。近寄っても逃げる事なく、中にはずわっている、ひざに乗ってくるネコちゃんには驚きました。

今年、久しぶりにお参りしたのですが、いつもの顔がみあたりません。ミッキーとサテツです。休憩所でそれを知ったのはショックでした。お寺に行けば、いつも癒してくれていた二匹。でも、考えてみればとても頑張ってくれた年齢です。あちらでうちの仔と仲良くしてくれているのかしらん、と思ったりしています。

新しい顔ぶれにも御挨拶。次

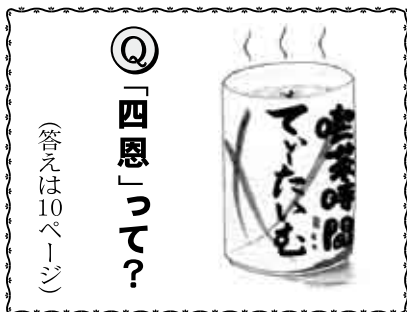
世代に行く、またなくさめてくれるネコちゃん達。まだ全部には会っていないのですが、元氣いっぱいの彼等に感謝致します。現在はネコを飼えない状況下にあります。里親さんの募集を見ると切なくなりまます。生まれた命が、少しでも早くすてきな家族やパートナーに出会える事を望んでおります。

世の中は大震災の影響が大きく残っております。この震災で被害にあった犬や猫、また手離さざるを得ない状況となった人達。ペット以上に家族なので、人が大変な時に、との意見もあります。可能な限り一緒に居られる環境である事を望みます。逝ってしまった体は、もうありませんが、いつも心には居てくれる。時々、お位牌に話しかけてみたりすると、嫌な事がスツと流されていきます。

今日も一日無事に終わる。この仔が見守ってくれているから、支えてくれるから。これからも無器用な私だけれど、宜しくお願いします。

最後にミッキー、サテツこれからも皆を守って下さいね。

合 掌





愛犬タローの  
思い出

小平市 田中 正文

長男犬、チビが十歳で蚊にさされが原因で亡くなり貴院に埋葬して頂き四〜五年過ちました。戌年の私は犬言葉が解るぐらいに大好きです。

家内は「もう生きものは別れが死別がづらいので飼うのは絶対にいやだ」と言っていました。

そんなおりにサンケイリビン  
グ新聞に「可愛いらしい子犬さしあげます！」という記事があり、私が「見に行く」と申しますと家内は「絶対に連れてこないでね！」との約束で見に行くとその家では「この犬が迷い込んで来て家には二ひき犬がいるので…」との事。タローは赤い首輪をつけて初対面の私に犬語で「おじさん連れて行って」と言うではありませんか！私は家

内との約束をすっかり忘れてリードごと連れて来てしまいました。

家内は始め「返して来て」といつていましたがタローのあまりにも可愛いさに、これも何かのご縁だと飼うことになりました。

私の家は酒屋です。店の前に繋いでいるとお客様に愛敬で「いらつしゃいませ。ぼく今日から中屋酒店の店員でタローと申します」とお手をしたりしてすっかり店の名物犬となりました。家内がタローの前掛けを作らせていました。タローを戴いた方もお陰様でお得意様になりました。売上も倍増です。タロー有難う。

タローは紀州犬の雑種で朝夕の散歩は私。配達も車にのせて行きお客様に可愛いがられました。

月日が流れて十九年、最後は

私と家内の膝の上で「父さん、母さん有難う」と言ってぴんぴんころりの一生でした。

平成十六年六月三十日 タローの一生は終りでした。

練馬区 大瀧 史子

ごはんとお水、おやつをあげ「ぶうちゃん、ぶうちゃん」と何度も話しかける毎日。ただ、以前と違うのはそこにお線香を手向けお経をあげることが加わったこと。

平成二十二年十月十九日の夜十一時四十五分頃、私の腕の中でぶうは深い眠りに就いた。頃というのには、ぶうが危篤となつてから三日間、殆ど眠っていない。私には不覚にも睡魔に襲われ、痙攣から小刻みに震えるぶうを抱きながらぶうと呼吸を合わせてウトウトしてしまつたから。ハツと気付いた時にはぶうは逝

っていた。とても安らかな笑顔で。十六才と九ヶ月だった。

ぶうのお見送りに際し、どうしても私が思うぶうにとつての大切な品々を持たせてやりたかった。慈恵院にお電話をさせていただいた際の私は、多分動揺を隠しきれていなかったと思う。そんな私の気持ちを察してくださり、相談に乗っていた。だき三日後の二十二日に心の籠った葬儀をしていただいた。

あと二日間一緒に居られることになった。ぶうと私は、いつも通りずっと一緒に過ごした。冷やさない駄目と伺っていたので窓を全開にして一緒に寝て沢山のお話しをした。私達が本当の親子になったのは一緒に暮らし始めて三ヶ月が過ぎた頃、旅先で体調を崩したぶうが心配で床にタオルを敷いて横になっていたら、私の腕の中に入ってきた。ジッと私を見つめてくれた。あの時からだったこと。笑った

慈 恵

り怒ったり喧嘩したこと。私の結婚後も夫が快く川の字でネンネさせてくれたこと。

私は良いママじゃなかったね。どんな時にも我慢して健気に待ってくれるのを良いことに「ちよつと待って」ばかり口にして。ママの抱っこでホツとしたかっただけなのに。本当にごめんね、ぷうちゃん。いくら話しても尽きない程にぷうとの思い出は沢山あり、ありがとうと言いたい気持ち、ごめんなきいと謝りたい気持ちは語り尽くせない。

ぷうは沢山の事を教えてもくれた。信じて待つ事の大切さ。生きる気力の大切さ。生き残る者が後悔しないよう介護の時間も与えてくれて、介護は「してあげてる」ではなく、させて貰っていたのだという事も教えてくれた。危篤になって、やっと私はぶうに「もう頑張るの、止めようね。のんびりしようね。」

と言った。そう、私はいつも充分に頑張っているぶうに「頑張ろう」ばかり言っていたのだ。

危篤となってから初めて気が付き、ぷうに何度も謝った。ぷうが逝ってしまったあの時、ウトウトから目覚めた私はぶうを呼び戻す、ではなく、「よく頑張ったねえ。本当に偉かった。ぷうちゃん凄い！」と自然に発していた。六才の頃より様々な病気を抱え、介護生活が始まってからも、凄いとしか言えない程にぷうは頑張り通してくれたから。

ぷうに会いたくて堪らない私だけど、耐えて頑張りつてからでないと、ぷうに会わせる顔がない。最後まで頑張り貫いた愛しいぷうの笑顔をまた見るために。



冬 じよみ

2 月	1 月	12 月	
<p>2 / 12</p> <p>涅槃会</p>	<p>1 / 1</p> <p>修正会</p>	<p>12 / 31</p> <p>除夜の鐘</p> <p>12 / 4</p> <p>成道会</p>	<p>当山行事</p>
<p>2 / 19</p> <p>●薩埵富士雪縞あらき 雨水かな(富安風生)</p>	<p>1 / 6</p> <p>●小寒や池に黒髪の一握(井上静川)</p> <p>1 / 21</p> <p>●大寒の入日野の池を見失ふ(水原秋櫻子)</p>	<p>12 / 7</p> <p>●大雪や茎ばかり掃く 藤落葉(涙人)</p> <p>12 / 22</p> <p>●門前の小家もあそぶ 冬至かな(凡兆)</p>	<p>二十四節気</p>
<p>2 / 11</p> <p>●建国記念の日</p>	<p>1 / 7</p> <p>●人日の節句(七草粥)</p> <p>1 / 9</p> <p>●成人の日</p>	<p>12 / 23</p> <p>●天皇誕生日</p>	<p>祝日等</p>
<p>2 / 4</p> <p>●立春の雑草園の草(よみ)(山口青邨)</p>	<p>2 / 3</p> <p>●節分</p>		

「こよみ事典」東京美術 参考

## うちの花子ちゃん

いそべ動物病院

院長 磯部 芳郎

「お母さん、花子のお腹が大きくなつたみたい。病気じゃないのかな」

「ごはんはよく食べるし、元気だから、肥つたのじゃない」

花子は三才の雑種犬だ。家族は小学生二人と両親と犬一匹だ。子供たちは犬と仲良くし、三人兄弟のように暮らしている。

親から面倒ばかりみて貰っている子供だが、子供にも自分たちが面倒をみる花子がいる。自分たちも必要とされていると考えている。

「花子は妹だからな」

「ちゃんと面倒をみないと可哀相だよ」

いい子供たちだ。

お母さんは花子連れて動物病院で診察を受けた。その結果は妊娠であった。

「みんなね、花子に赤ちゃんが生まれるよ。あと、半月くらいしたらね」

「バンザイー！お母さん、今年のいちばん楽しいニュースだね」

犬のお産は夜に生むことが多い。獣医さんのアドバイスを受けてお産に備えることにした。

今日、花子は食欲がない。

今晚、生まれるだろうと、ダンボール箱にバスタオルを用意した。

「さあ、今晚、赤ちゃんが生まれるから、みんなで花子を励ますんだよ」

家族全員が集まり、花子を見守ることにした。

前肢で穴を掘る動作をくりかえす。陣痛が始まった。

花子が、うーッと唸って息むと、羊膜と羊水に包まれて仔犬が出てきた。子供たちは初めて見るお産の情景に驚くばかりである。母犬は羊膜を破り臍の緒を切り、仔犬の体を頻りに舐めている。羊水で濡れた体を乾かすためである。

哺乳類の母親は子をお腹に抱えてよく舐める。母親の深い愛情に包まれて、犬は大になる所以である。四匹の仔犬が生まれた。耳も眼もまだ開いていない、寸詰まりの顔だ。仔犬が乳を吸うときに息苦しくならないためである。

子供たちは花子の仕種をもらさず真剣に見ている。

「犬のお母さんつてえらいなー。仔犬も自分でオッパイを捜して飲んでる。お母さんも静かに横になつている……」

「おしめもないのに、お母さんが舐めてきれいにしているね。おどろきだね」

「いつ眼が開くのかなー。早く大きくなーれッ」

子供たちは、花子の子育てと大きくなつていく仔犬の成長を見ると、生命のすこさを感じているらしい。

「お姉ちゃん、仔犬の眼が開いているよ。見えるのかなー」

仔犬の眼は十日ぐらいで開く。

「見えているみたいだね。可愛くなつたね。お母さんのオッパイだけでどんどん大きくなって、すごいねッ。みんなに名前をつけて、

体重を量ってみようか」

「どんどん大きくなっていくね。こうやって生まれて、お母さんに可愛がつてもらって、オッパイを飲んで大きくなるんだ。ぼくたちもこうして大きくなったんだね。お母さんありがとう」

花子のお産を見ることによつて、自分の生命を考える機会になった。この家庭は犬を飼うことから何を学んだのだろうか——生命の誕生から老いて死ぬことを学んだ。

最近、ペットブームと言われ、犬を飼う人も多い。犬を飼いたいと思う目的は何であろうか。その背景にあるものは何であろうか。犬を飼う目的が、人間関係の希薄化や精神的な孤独から逃れるために飼うことはないのだろうか。

当然、飼う目的が花子の家庭と異い、人間関係がうまくとれない飼主だとトラブルも起きやすい。動物を飼うことが新たな問題となる。

動物の中で、尾を振り、あなたが好きですよと意思表示する動物は犬だけだろう。人間は犬が持っている能力を理性を持つて理解し、犬に頼りすぎはいけないと思う。



ながた内科クリニック

院長 永田 宏

# スキンズキンと 脈打つように頭が痛む 片頭痛 (偏頭痛)

昔から「頭痛持ち」という言葉があるように、頭痛に悩まされている人は少なくありません。頭痛にもさまざまなタイプや原因があります。今回は、ズキンズキンとする頭痛発作に吐き気や嘔吐を伴うこともある「片頭痛」について紹介します。自分の頭痛の特徴を知って、適切に対処しながら頭痛に悩まされない快適な毎日を通しましょう。

脈打つような頭痛に吐き気や光・音過敏も

「片頭痛」は、その病名から頭の片側だけが痛くなると思われがちですが、両側や頭全体が

います。

頭痛を予告するような前兆や予兆があることも

片頭痛では、頭痛が起こる前触れ症状が現れる人がいます。目の前で光がチカチカしたり、ギザギザ模様の光が現れたりする「閃輝暗点」が代表的です。前兆は60分以内に消失し、次いで激しい頭痛発作が起こります。ほかに手足の皮膚の感覚異常や言葉がしゃべりにくくなるなどがあります。前兆が現れる人は片頭痛患者さんの一部で、前兆を伴わない片頭痛のほうが多くみられます。

また、なんとなく片頭痛の到来を予感させるような兆しを経験する人もいます。これを「予兆」と呼んでいます。

頭痛発作が起こる1〜2日前、あるいは数時間前から、気分が落ち込む、集中力がない、イライラする、食欲が落ちる、逆に

過食気味になる、首や肩がこるなどの心身の不快感があり、そのあとに頭痛が起こってきます。頭痛の起きる状況を知り誘因を避けましょう。

睡眠不足、逆に寝過ぎ、疲労、空腹、過度の緊張などは、片頭痛を引き起こす誘因になります。緊張が続いたあと、ホッとした時に頭痛が起きるという人もいます。

人ごみや、光や臭いの強い場所でも頭痛発作を起こす人もいます。赤ワインやチーズは片頭痛を誘発する食品として知られています。

また、女性では、女性ホルモンの変動の影響で、生理(月経)に伴って起きることも少なくありません。

誘因には個人差がありますので、自分にとって何が片頭痛を引き起こすきっかけになるかをよく知って、それを避けることが大切です。

暗い静かな部屋で安静に、  
繰り返すなら医療機関へ

発作が起きたら、なるべく暗くして静かな部屋で横になり、安静にすることが症状を悪化させない方法です。少しでも眠ると楽になります。座って安静にするだけでも効果はあります。

額やこめかみ、後頭部など、痛む部分を冷やしましょう。血管が収縮するので症状が軽くなります。頭痛くらいで…と医療機関を受診せずに、市販薬でしのいでいる人も多いようですが、鎮痛薬の乱用も頭痛の原因になります。

つらい頭痛をがまんして過ごす時間は、仕事や学業、生活にとって大きな損失です。頭痛治療も進み、鎮痛薬、トリプタン製剤、エルゴタミン製剤、非ステロイド消炎鎮痛薬などの薬を上手に使用して、発作時の痛みを取り除き、発作を予防することができま

頭痛発作が月2回以上頻繁に起き、日常生活に支障をきたすようであれば、内科、神経内科

頭痛の診断と治療を専門に行う。「頭痛外来」などを受診してみましょう。

さまざまな頭痛

片頭痛のほかに、頭痛にはさまざまなものがあります。たかが頭痛とあなどらないで、自分の頭痛のタイプを知るためにも、一度医療機関を受診しましょう。

●緊張型頭痛：頭全体が重く締めつけられるように痛む。肩や首の強いこりを伴うことがあり、心身のストレスなどで頭部や頸部の緊張が高まり、血流がわるくなつて起こる。

●群発頭痛：1〜2か月間、毎日ほぼ決まった時間に起こり、目の奥や周囲、こめかみなどに非常に激しい頭痛が起き、15分〜3時間くらい続く。

●他の病気による頭痛：くも膜下出血、脳腫瘍、脳梗塞、脳出血、薬物の乱用による頭痛など、他の病気が原因で起こる頭痛。

別院だより

足立別院

犬、猫、私 平凡な毎日

やまもと動物病院 院長 山本 滋子

15才の老犬、2才の若犬、8ヶ月の猫これが我家の同居動物達。15才の老犬は寄る年波に勝てず、又、目の奥にできた腫瘍のせいで顔相変化、歩行困難だがお迎えは未だこない。これは現世でまたやるべき事があるという事、まさに我々の生き様の教科書をしている。

2才の若犬。持ち前の強気は領地内だと存分に発揮され侵入者は全力で追い払う。だが一步領地外に出ると途端に弱気が強調され早く帰ろうと尾をまいて抱きついてくる。情けない若者だ。唯一ほほえましいのは猫の面倒を良くみる。二匹で並んで外を眺めている姿には癒される。8ヶ月の猫。近所のネズミ捕りペタンコに貼りつきそのまま保護され我家へ。ペタンコをはがしシャンプーされ

きれいになって家族の一員に。先住者に敬意をはらいつつ立派に自分の立ち位置を確立。  
3月11日の大地震の日、3匹と共に近所の公園に避難。自宅は無傷だったので帰宅出来たが被災した時はどうなるのだろうか。漠然とした不安がよぎった。  
自分の仕事は動物の健康管理の責任を担う獣医師、動物達と暮らしながらお互いに一生涯を全うするにはどの様な努力が必要なのか日々、思考錯誤している。そして今日も平凡な一日が始まった。(老犬)お迎えは今日も来ません。一日ヨロシク(若犬)ここからは誰も入って来ないで、そばに寄らないで稀いから!!(幼猫)……。生きている事は素晴らしい！平凡な毎日には幸せである！





# みんなで歌う会

童謡、唱歌を歌いませんか？  
毎月最終月曜日

(於 本山瑞法殿2F)



# おしらせ

愛犬「さくら」が病気療養中のところ、  
九月四日(日)永眠しました。十才でした。  
生前可愛いがって頂いた皆様には心  
より感謝申し  
上げます。



## A 四恩とは

仏教で人が生きてゆく上に受ける  
四つの恩のことで、天地の恩、国土  
の恩、父母の恩、衆生の恩をさす。  
恩というのは狭義では人からさず  
かる恵みを指し、広義には天地全て  
の存在からさずかる恵みを指す。  
恵みを受けることを「受恩」とい  
い、恵みを受けていることを自覚す  
ることを「知恩」と言う。又、恵み  
に報いることを「報恩」と言う。

●本山：東京都府中市浅間町2-15-1 〒183-0001  
TEL.042-365-7676 FAX.042-336-3888  
URL <http://www.jikeiin.jp>

●足立別院：東京都足立区加平1-14-3 〒121-0055  
TEL.03-3628-7676 FAX.03-3628-7679

●洗足別院：東京都大田区北千束2-9-1 〒145-0062  
TEL.03-5702-7676 FAX.03-5702-7684

## 編集後記

からからと

日は吹き暮れつ

冬木立(内藤鳴雪)

早、師走となり、大震災より  
九ヶ月が過ぎました。

ニュースによれば復旧の兆し  
もみえますが、未だ傷跡深く復  
旧、復興への道程は遠いように  
思われます……。

一日も早く笑顔が戻られます  
よう祈念して止みません。

合掌

慈 恵 冬季号 No.37

平成二十三年十二月一日 発行

発行者 永 田 恵 堂

編集者 長 岡 天 佑

発行所 一八三〇〇〇一

府中市浅間町二一五十一

宗教法人慈恵院 編集部

印刷所 山二印刷有限公司

府中市浅間町三十四一九  
〇四二一三六一一五二二